

「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指して…

平素は池田泉州ホールディングスグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社グループに対するご理解をより一層深めていただくため、「池田泉州ホールディングスレポート2016」を作成いたしました。本誌では、当社の経営方針や経営計画、CSRへの取組みなどをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成28年3月期決算の業績につきましては、池田泉州ホールディングス（連結）の純利益は、市場環境の悪化や税制改正の影響もあり、164億円となりました。3期連続での過去最高益更新には至りませんでした。が、引き続き安定的に業績は推移しております。

池田泉州ホールディングスでは、今般、「第3次中期経営計画」を策定いたしました。

コンセプトとして、「7つの構造イノベーション」を掲げ、平成30年度には、「連結当期純利益200億円以上」、「株主資本ROE8%以上」、「中小企業貸出残高（銀行単体）1兆5,000億円以上」、「個人総預かり資産残高5兆円以上」、「非金利収益比率20%」を目指します。

地元の中小企業と個人のお客さまによりフォーカスした諸施策を展開することで、中小企業と個人を収益基盤とし金利収益以外にも確固たる収益源を持つ、高収益でROEの高い銀行グループを目指してまいります。

また、地域活性化・地域創生にも更に積極的に取り組み、5年後、10年後も「地域」に貢献し続けることができる、持続可能なビジネスモデルを確立してまいります。

私どもは、「地域第一主義」「お客さま第一主義」の理念のもと、地域のお客さまとの“ご縁”と“リレーション”を大切に、“関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ”を目指して、「地域の皆さまからのご支持No.1」のご評価をいただけますよう、これからも全力で取り組んでまいります。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年7月

池田泉州ホールディングス 取締役社長
池田泉州銀行 取締役頭取

藤田 博久

